

交流人口一〇〇万人と
人口二万人の目標に向けて
「みやんじょ竹の祭典」開催を



柏木幸平議員

柏木幸平議員 本町は、竹を活かしたまちづくりを町民一体となり進めている。十四年度にはチクリン村開村二〇周年も迎える。現在、さまざまな竹に関わるイベントがあるが、一貫していない。既存の竹のイベントも加え、パンブオーケストラなど手作り竹楽器で、学校や一般を対象とした発表会や荷料理、竹の盆栽、竹の民芸品や加工品などのコンテンツ等、総合的な竹のイベントをストーリー性のあるものにして、夢のある「みやんじょ竹の祭典」を開催する考えはないか。

等、町づくりを進めるうえで大事である。

県立公園を含め、関係機関・団体等が一体となる体制が大事なので、公社を創り運営にあたる。町としても早い機会に、担当の職員を配置する。

また、一部開園と併せ、チクリン村開村二〇周年記念もストーリー化して、大きなイベントにすることは大事なので検討する。

県立公園の 周辺道路活用を

柏木議員 川内川や泊野川沿いの道路、虎居甫立原地区「希望の大地」の農道等、豊かな自然と景観のいい道路が県立公園周辺にはある。また、この沿線には果樹類、園芸品、花卉類、竹林や川魚などあらゆる農林水産物がある。

北村町長 本町をPRする新たな取組みであり、竹文化の創造・竹産業の振興・特産品の開発・観光PR・交流推進



4月の一部開園に向けて魚ピッチで整備が進められる県立公園（オートキャンプ場付近）

念されている。県立公園周辺道路でのマラソン大会やジョギング大会等の健康志向と合わせ、農業体験や観光農園、農林水産品の販売なども併せて、四季を通して家族ぐるみで参加できるイベント開催の考えはないか。

町長 住民の生活に支障のない方法や安全対策など、関係機関・団体とも連携して県立公園の活用と周辺での関連イベント等、研究を進め観光農園等の産業振興など町づくりにつながるように、また、多くの人に来園してもらえよう努める。

企業誘致・雇用促進 の積極的取り組みを

柏木議員 今春卒業予定の地元高校生の就職状況は県内に就職希望しても雇用の場がなく極めて厳しい。若者の地元志向がある今、U・J・Iターン者も含め、雇用の場の確保が急がれる。

企業誘致はない、立地企業も衰退する。これでは、町内の失業者増と求人減に拍車がかかり、若者の雇用の場がますます失われる。本町の優良な立地企業に対しての支援制度はできないものか。また、雇用促進にしても企業だけでなく、町内の商業・農業等あらゆる雇用の場の斡旋を各担当課でも取り組んで、雇用に関する情報提供はできないか。

町長 就農に関しては、町としても積極的な対応をする。また、情報提供は、それぞれ職場においてする。支援制度は、町としては難しいので、国の政策を活用してほしい。